

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	残さず食べよう協力店(仮)登録事業
事業主体 (連絡先)	松本市 (環境部 環境政策課 環境政策担当)
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,020,600 円 (うち支援金: 765,000 円)

事業内容

まだ食べられるのに捨てられている「食品ロス」は、年間632万トンも排出されており、行政のみならず、市民や事業者が一丸となって取り組むことにより、食品ロスを減らしていく必要がある。

松本市では、「残さず食べよう! 30・10運動」をはじめ、食品ロス削減を推進しているところであるが、飲食店における食品ロス削減の様々な取組みの推進及び宴会実施者(事業所等)の30・10運動の実践を図るため、食品ロス削減を推進する飲食店、宿泊施設又は事業所を、申請に基づき認定する「残さず食べよう!」推進店・事業所認定制度を創設した。



【啓発品】



【目標・ねらい】

- ①飲食店・事業所等の協力
- ②食品ロスの削減

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①飲食店等73店と事業所等37事業所の合計110店・事業所が当該事業に参加し、連携した取組みを図ることができた。

②アンケートを実施したところ、食品ロスが減ったという飲食店が35.7%あり、飲食店における食品ロスの削減につなげることができた。

※自己評価【 B 】

【理由】

食品ロスの量が減ったという飲食店があったものの、推進店・事業所数は目標に達しなかった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

飲食店・事業所等への一層の周知を図り、推進店・事業所を増やしていく。

「残さず食べよう! 30・10運動」は、幹事や司会を中心に、声かけをしていくことが重要なので、事業所(料理をいただく側)の協力を求めていく。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある